

K S K P
N O . 9

発行 1994年10月

編集 クリエイトハウス
“パンジー”



パンジーの夏まつり

地域の人にパンジーにきてもらうために、企画された夏まつり。1回目にしては、よいできだったのでは、と思います。始まる前からきてくれたのは、近所のこどもたちでした。外で始まっていた、いろいろな出店の準備をみつけたのでした。しかし、さあ、始まるぞという、5時前になって、どしゃぶりの雨が降り出したのです。あわてて、外でやるはずの出店を、建物の中に動かしたり、テントをはって、早く雨が止むことをいのりました。

建物の中で、たこやきや、かきごおりを売り始めた頃、雨が上がり、またまた、かきごおりやさんは、外に引っ越したのでした。外では、ヨーヨーすくい、きんぎょすくい、とうもろこし、ジャガバタ、フランクフルト、やきとり、かきごおり、中では、アイスコーヒー、ジュース、ビール、おすし、スイカ、肉まん、たこやきなど、盛りだくさんの出店が並びました。

さあ、ダンスが始まりました。岩田さんのアレンジしたディスコ風盆踊りの後は、いよいよ河内音頭です。近所の加納自治会、東鴻池住宅自治会のみなさんがゆかたを着て、さっそうとパンジーにきてくださり、踊りをリードしてくれました。おかげで大いに盛り上がりました。

最後は花火大会。こどもたちは、ここぞとばかりにおおはしゃぎ。おみやげの花火をもらって大満足で帰って行ったのでした。

来年も、もっと盛大になるよう、また、手伝ってもらえればと思います。今年来てくれた人も、来なかった人も、次のパンジーの夏祭りを、楽しみにしててくださいね。

さとこ

新製品登場

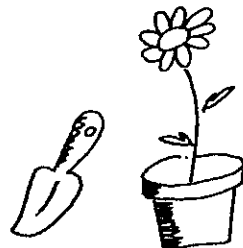
暑く長い夏が過ぎ、ようやく秋らしくなりました。パン屋では、夏の間、いままで手をつけることができなかった、新製品の開発を少しずつですが進めてきました。内容につきましては、現在、あきらかになっているものも含め、全部で5、6種類程度の新製品が、そろそろ皆様の目にも届くことだろうと思います。それまで楽しみにしててください。

またパン屋では、秋からいろんな施設、役所、近くの学校などに出かけて行き、通常の配達とはまた違った形で、パンを売り、いろんな人と出会えたらいいなぁと考えています。

これを読んで興味を持った方、ぜひご連絡ください。よろしく申し上げます。

(よしたけ)

ぜひ、見に来てね



やっと秋らしくなり、外に出るのもつらくない季節になってきました。

夏休みあけぐらいから軽作業部門の仕事の見直しにとりかかっている、そのひとつとして、ハーブ栽培をはじめようと計画をたてています。午前中1時間ほど庭の草ぬき、今はえているハーブを取獲したりという仕事からやりはじめています。“これで、ハーブ製品を作って売れたらいいなぁ・・・”と夢みてたやさきに、今までやってきているせんたくばさみの大量注文がはいってきました。“そんなぁ・・・”と思いつつ仕事はやらねばならず、パン屋さんに手伝ってもらったりしながらこの苦境をのりこえようとしています。

ハーブ製品、さおり製品も年内にはすてきな製品ができると思いますので、ぜひ見に来てください。

(はま)

危うし、幸女の厨房生命・・・！？

さて、今回パンジーの仲間たちシリーズはお休みさせていただき、パンジー厨房現状報告をさせていただきます。

最近の厨房において、何が起きているのかと申しますと、まずニョイニョイの彼が、足の具合が思わしくなく、長期にわたるお休みをする事になってしまいました。私たち厨房職員は寂しい思いで仕事をし、お茶を冷水機に入れてくれたり、みんなの食後の食器をさげてくれた彼の存在の重要性を、ひしひしと感じる毎日であります。

また、授産部門が、さをり織りや、園芸に力を入れることになり、13時から私(幸女)が軽作業の方を手伝いに行く(じゃましに行く)事になったため、午後からの厨房の仕事は、メンバー数人が手伝ってくれる事になりました。河野さんがお休みの日、私はメンバーの手伝ってくれる午後の厨房に入って、本当に私の厨房生命が危ぶまれている事を知り、不安におちいっています。(ゆきめ)

グループホームが

グループホームが ひっこしして、3かげつがたちました。このあいだに、いろいろな ぎょうじが ありました。おおさかふこのこうしょう、なつのりょこう、なつまつり、ピープルファースト、なかまのかいのきゃんぶと、めんばーたちは、それぞれに いそがしくも たのしくすごしているようです。

7がつからは、たいけんしゅくはくを はじめて、たくさんのなかまが、グループホームに きました。はじめてのひと、ひさしぶりのひと、それぞれに たのしんでかえたのでは、と おもいます。ときどき かわいい ともだちも きてくれます。みどりさんは、かのじょとはなしている、ほっとするそうで、とてもよろこんでいます。こんな にぎやかな グループホームが、みんなの2つめの いえのようになれば いいなあとおもっています。 さとこ

自己紹介

滝川 峰子



はじめまして。8月よりバンジーの職員になり、早くも1か月が過ぎようとしています。わからないことだらけの1か月でしたが、メンバーのおかげで楽しい毎日を送っています。作業では、園芸を担当する事になりました。いろんな花やハーブをみんなで育てていこうと思います。ぜひ見に来てください。映画を観たり、おいしいものを求めて食べ歩くことが大好きです。いまだに、高校生にまちがえられるような私ですが、どうぞよろしくお願ひします。

吉田 和美



4月からバンジーにきていますが、ずっと昔からいるような顔をして事務所でパソコンにむかっています。今まで“早いことはいいことだ、できる女はかっこいい!”を求めて、がんばってきました。(実現したかどうかは???)。バンジーにきて、みんなのマイペースさや、「いやなことはいやだ!」と言い切る姿に、学ぶことが多いです。

大北 孝一



私がバンジーにきてはや半年がたちました。所属はパン部門でしたが、パンに関してはまったくの素人でした。だから多くの事をみんなから教えてもらい、何とかやってきました。

私がバンジーに関して魅力を感じる所は、まず通所者を大人としてまた一人の人として当たり前につき合うよう努力していることです。

月岡 聡子



グループホームで世話人をはじめて、時間がたつのがいっそう早く感じます。まだまだ、軌道に乗らない仕事ぶりで、まわりに迷惑をかけることが多い日々です。そんな私ですが、いつも彼らの将来を考えてつきあうことと、心をととのえて、あたたかい気持ちで接することに気をつけていたいと思います。



親のねがいと子どもの思いとの間

堀 智晴



障害児保育教育の研究をしていると、障害児の親とのつきあいも多い。今でも親の会の話し合いに参加させてもらっている。もし私が親にとって参考になるようなことを言えるとしたら、それは私がこれまでいろんな親の生きざまから教えられてきたからだろう。簡単に親の悩みを理解できるとは思わない。「障害児をもたない人には私たちの気持ちはわからない」と言われたこともある。それはそうだろうと思う。しかし、簡単にはわからないことを承知の上で、なおかつわかり合える面もあると思う。親の方がいわゆる専門家よりもよく勉強していると思うことがある。わが子のことであれば何でもする、という姿勢で生きているからだろう。それが親というものだろうと思う。私も子の親としてその気持ちはよくわかる。しかし、ときに「親は親でしかない」と思うことがある。わが子のため、と言いながら実は「親自身のためではないのか」と思わざるをえないことがあるからだ。子どものためというけれども、本当に子ども自身がそれを望んでいるのか疑問に感じることがあるのだ。

こんな例がある。自分で食事ができるようになって欲しい。だから指先をうまく使って自分で食事をしてほしい。どのようにすれば手先がうまく動くか、その専門的な知識も持っている。親は食事ごとに子どもの手の動きをじっと見つめ、はげましのことばをかける。うまく食べ物を口に運ぶことができたらほめる。いつの間にか、おいしく家族で食事をするのが後回しになっている場合があるのである。食事を「楽しむ」ことよりも自分で「上手に食べる」ことが優先されてしまう。

上手に食べるられるようになれば確かに本人にとってうれしいことだ。しかし、上手に食べるのは健常者だってなかなかむづかしい。特にはしを使うのはむづかしい。「子どものため」と思っていることが、親の勝手であったり、今の世の中の価値観の押し付けであったりするのである。これは障害者の親に限ったことではない。世の中の親であればみんな同じようなところがある。

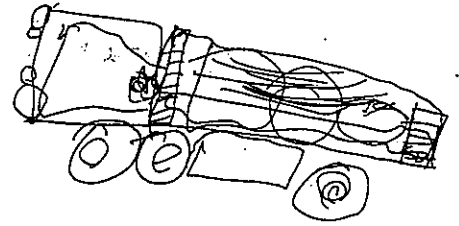
学生さんに、「親の子育て」についてかいてもらったことがある。そしてさらに、そのような子育ての中で自分はどのように育ってきたか「子どもとしての自分の子育て」について書いてもらった。そうするとおもしろいことに、「親の子育て」と「子どもの子育て」との間に大きな溝があることがわかったのである。親の願いと子どもの思いとはもともと親子であれ人間が違うのだから、違って当然なのである。「親子であっても別人」と考え、子どもには子どもの思いがあることに親はまず気づく必要があるのではなからうか。



どらえもんかいのページ

なかま会の合宿に参加して

肌勢 俊一



Q. 合宿の場所はどこやった？

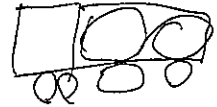
肌勢 山奥のところからずっと道路ぞいを出て山林の木のしげてる所だった。

Q. 合宿でなにをした？

肌勢 自動車でこう速あたりを走ったりしていた。外のながめもあんがいと気もちよかったし、休けい場の近くで、そこに露てん風呂があったみたいだ。温せんで体をやすめ林の外の空気が風にあたり、外を見ると毛がバタバタとふいた。

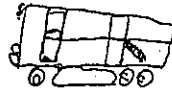
Q. なにが一番楽しかった？

肌勢 みんなで宿泊で焼き肉パーティーをしました。大きな鉄板の上に肉をたくさんのおせ、一人テーブルとか一列おき、とうもろこしもあみに一個ずつたばねて焼いた。くったことはくったけど、もっと食べたかった。



Q. だれかとなかよくなった？

肌勢 希望の家の人らといっしょに対話をしつづけた。横に、わをくんでジュースだとかでたからゆっくりした。



サンフラワーにのったよ！

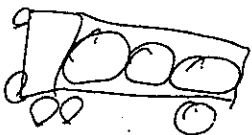
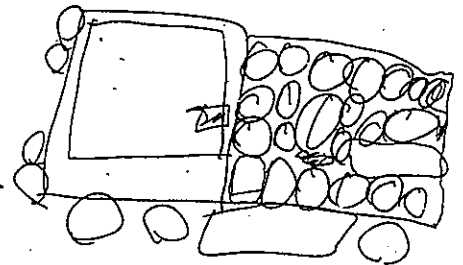
森下 純一

船にのってよかったよ 海がきれい 気持ちよかった。

関西新空港 飛行機見れた かつこよかった。

すごいひとがいっぱいおった。

チョコパフェ食べられなかった、今度いったら食べてみたい。



伝言板

パンとハーブ製品、さおりが販売できるところを探しています。

パン屋では、昼食時間に合わせてお惣菜パンを新開発。おいしくて、薄味なので、毎日食べてもあきない自信作。パンジーのライトエースで現地まで駆けつけます。

「手作り&ナチュラル」。パンジーブランドのハーブ製品を作りました。メンバーが心を込めて手入れした無農薬のハーブで作った「ハーブティー」や「ハーブバス」です。

色鮮やかで、素敵な「さおり織り」ができあがりました。オブジェにするもよし、自分なりの製品に作り上げるもよしのさおりの布と、さおり製品はいかがですか。

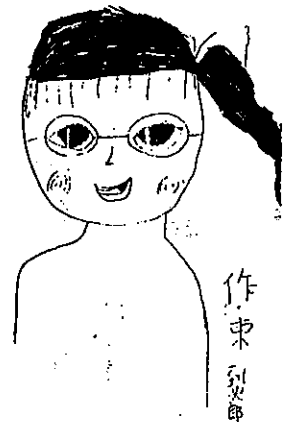
いらなくなったワープロ、パソコンはありませんか。

今、メンバーの中に「ワープロを勉強したい!」という熱い想いがあふれています。たくさんワープロやパソコンが集まったら、「障害を持った人のためのワープロ教室」を始めたいなあ。たくさんのワープロ、パソコンを、お待ちしております。

卓球台をさがしています。

昼やすみや、レクレーションのときに“ちょっとだけ卓球”ができたらいいなあと思っています。パンジーには、卓球の名手が約3名いるんだよ。フフフ、パンジーに来たらそれが誰かわかります。あまつる、いらなくなった卓球台があったらパンジーまで連絡してください。

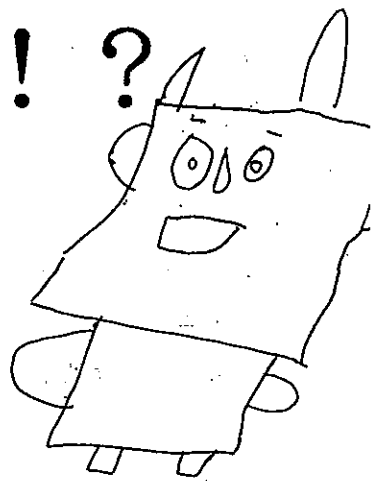
おじあたりのある方、
おひねり下さいね。
よろしくおねがい
しまあ!!



新シリーズ

なんかへんだな!?

最近の傾向として、知的な障害をもつ人の自己決定・自己実現が当然のものとなって来ています。その自己決定を支えることが、施設職員の私たちの仕事のなかでも、たいせつなことのひとつと言えるのではないかと思います。このような動きを当事者運動として実現すべく、パンジーの通所者の中にも数名が「なかまの会」という集まりに参加しています。



なかまの会（国際障害者年連絡会・知的障害者部会）は、「自分たちの権利や自分たちの正当な利益、気持ちなどを、だれかに代弁してもらうことなく、自分自身のことばで社会に語りかけ、働きかけてゆけるよう連帯しよう。会の運営も自分たちが主体になって進めてゆこう」という思いをもった知的な障害をもつ人たちの集まりです。

この「なかまの会」に、パンジー職員の私もアドバイザーとしてかかわっています。アドバイザーというのは、会の進行で当事者にとって必要があればアドバイスをする人です。

このアドバイザーを、パンジー職員の私がやるというのは、少し問題があるのかもしれない。というのも施設職員と通所者とのあいだには利害関係があり、そのような利害関係のある人がいる場所では、なかなか本音は言いにくいものだからです。

アドバイザーの仕事は、「知的な障害を持つ人の中にあることばを、自分自身で表現できるよう手伝えること」とするならば、私はアドバイザーとして彼らに対し表現することを促しながら、同時に施設職員という立場で本音の表現を汲み取っているかもしれない。こんな私の立場って「なんか変だな」と思います。（大北）



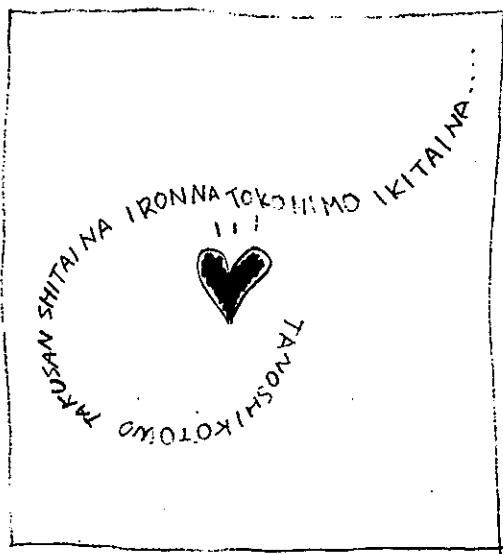
ガイドヘルパー物語

ヘルパー活動を経験して

田淵友加

私がヘルパー活動を始めて、半年ぐらいがたちます。でも、回数にするとまだ、3、4回なので、パンジーのみんなのことは知らないことのほうが多く、毎回、担当するペアの人に対しては、緊張してとまどっていました。そのせいか“この人にはどんな話題で、どうやって話しかけよう”とか“私はこのことについて、どんな反応を示せばいいのだろう”など、接し方にいろいろと考え過ぎてしまい、それが原因でうまくコミュニケーションが取れず落ち込むこともありました。

でも、そんな私とは逆に、パンジーのみんなは、ごく自然にどのヘルパーにも同じ



ように接してはうちとけていくので、それにはショックに近い驚きを受けてしまいました。

そんな経験から、最初は、ヘルパーとしてはどうやってパンジーのみんなとコミュニケーションをとればいいのか、と四苦八苦していたのですが、今ではそんな考え方はやめて、友達同士でどこかへ出かけたり、一緒に何かをすることといった、楽な気持ちでヘルパー活動に取り組む考え方へ変えることにしました。しかし、そんな気持ちにな

っても、「ガイドヘルパー」と呼ばれる以上は、パンジーのみんなが、今後、社会参加する機会を少しでも多く持てるように、また、そのきっかけが作れるように、ヘルパーという認識はしっかり持たなければならないと、あらためて実感しました。これからも、外出活動などを通じて、パンジーのみんなと一緒にたくさんの物事に出会っては、ためらわずどんどんチャレンジしていき、お互いに発展成長することができればなァと思います。

ガイドヘルパー来てね。

「ラビートにのって、かんさいしんくうこうにいきたい!」「ふねにのりたい!」「カラオケいきたい!」……行きたいところ、体験したいことってまだまだ山ほどあるやんなあ。うん、そうそう、わかるわあ。と、そんなふうに思えるあなた「○△□にいきたい」けど一人ではちょっとむずかしいパンジーのメンバーと、いろいろな体験をしてみませんか? 年齢・性別・経験ぜんぜん関係ありませんヨ。あなたもぜひご参加を!!!

《応募方法》ハガキに住所・名前・連絡先・応募の動機etc. を書いて『パンジー・ガイドヘルパーやってみよかな係』までお願いします。

★“こんな面白いところがあるよ!”という情報も募集しています。

よてい

10月16日(日)……なかまの会レクリエーション

10月18日(火)……なかまの会 午後7:00から

10月27日~29日……知的障害者全国交流会

10月30日(日)……東大阪市民健康まつり

11月 5日(土)……外出活動

12月 3日(土)……忘年会&クリスマスプレゼント買い物

★この他にも第3土曜日のクラブ活動や色々な行事ごとにも募集しています。



いつも「パンジーだより」をよんでくれてありがとうございます。

わたしたちはもっとたくさんのひとに「パンジーだより」をよんでもらいたいとおもっています。いつもどおりの「パンジーだより」のほか

① ていぶに ろくおんした「ばんじーだより」

② おおきい じの「パンジーだより」

③ ひらがなの「パンジーだより」をつくりまます。

「このだより」をよみたいな」とおもったひとは、パンジーまで



ご家庭や会社などで、書き損じの

ハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか？ 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございます。

＜後援会員になっていただいた方です＞（敬称を略させていただきます）

阪本美也子 泉 理恵 柳 久子 錦見 はま アトリエ・ホロニカ

＜カンパ、寄付金をいただいた方です＞

佐野 喜美 池淵 京子 谷川 伸男 M. S

＜全国へ飛び出すためのカンパをいただいた方です＞

伊藤 康三 指宿 柳 久子 芳野 朱美

＜書き損じハガキを送っていただいた方です＞

大賀重太郎 芹田希和子 高木 泰子 岩田 清子 青山 純代

橋本 明子 守住多江子 埴下 智里 武田伸二郎 小坂 次郎

衛藤 富子 井川 友子

パンジーのメンバーが全国へ飛び出すために、カンパをお願いします。

全国の知的障害者が集う会議が各地で行われています。そこでは自分たちの現実、将来のことなどを語り合います。現在、旅費、宿泊費はメンバーの個人負担。少しでもメンバーの負担が軽くなるといいな、と思っているので、ぜひ、旅費や宿泊費のためにカンパをお願いします。

パンジーでは賛助会費を

募集しています。

| | | | |
|------------------|----------------|-----|--------|
| 賛助会員 | 1口 | 1ヵ月 | 500円 |
| 本会員 | 1口 | 1ヵ月 | 1,000円 |
| 特別会員 | 1口 | 1ヵ月 | 5,000円 |
| 郵便振替番号 | 00950-1-300551 | | |
| クリエイティブハウス「パンジー」 | | | |

| | | | |
|------------|------------------|-----|-------------------|
| 編集人 | 東大阪市東鴻池町2-4-8 | 発行人 | 関西障害者定期刊行物協会 |
| クリエイティブハウス | Tel:0729-63-8818 | | 大阪市城東区東中浜2-10-1-3 |
| "パンジー" | FAX:0729-63-8825 | | 緑橋グリーンハウス・アート企画気付 |

一九八四年八月二十日 第三種郵便物認可 毎日発行 領価250円